

## 音楽（中学校）

### ○ 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり

各学年の内容の「A 表現」の（１）、（２）及び（３）の指導については、ア、イ及びウの各事項を、「B 鑑賞」の（１）の指導については、ア及びイの各事項を適切に関連させて指導すること。

各学年の内容の〔共通事項〕は表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質、能力であり、「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導と併せて、十分な指導が行われるよう工夫すること。

### 「個を活かす協働的な学び」の実現 「個に応じたきめ細かな指導」の充実

#### 「授業づくりの三訓」を生かして（例）

しかけて待つ	語らせつないで	認め励ます
<p>■思考・判断のよりどころとなる主な〔共通事項〕を適切に選択、設定する。</p> <p>◇手立ての例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成したい資質・能力を明確にし、要となる〔共通事項〕を明確に設定する。</li> <li>・「音楽的な見方・考え方」を働かせた（音や音楽を知覚・感受する）場面を適切に設定する。</li> </ul>	<p>■「対話的な学び」の充実 子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりにする。</p> <p>◇手立ての例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを広めたり、深めたりする「対話的な学び」の設定。</li> <li>・「作品と向き合う」「音楽と向き合う」「考えたり判断したりする」一人で行う対話の設定。</li> <li>・リコーダーを吹いて聴かせたり範唱を聴かせたりして、そこから生徒が感じたり、まねたりする。</li> </ul>	<p>■生徒の学びの姿を見取る過程を大事にする。</p> <p>◇手立ての例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉にする前、ワークシートに書く前のつぶやき等に目を向ける。</li> <li>・「オノマトペの発言」「動作を交えて」「口ずさんで」を観察する。</li> </ul>

#### 音楽科における「知識」

- ・表現や鑑賞の活動を通して実感を伴いながら理解していくもの。
- ・表現や鑑賞の活動を通して、自己との関わりの中で理解できるようにする。
- ・決められていることを覚えるだけでなく学習の積み重ねによって更新されるもの。

#### 音楽科における「技能」

- ・創意工夫の過程でもった音楽表現に対する思いや意図に基づいて、その思いや意図を音楽で表現する際に自ら活用できる技能のこと。
- ・変化する状況や課題などに応じて主体的に活用できる技能として身に付けることができるようにすることが重要。



#### ICTの活用について

- 聴覚だけでなく、視覚などの他の感覚を働かせて音や音楽を捉えながら音楽表現を創意工夫したり、音楽を聴き深めたりすることができる。
- 創作の学習において、つくった音楽を記録したり、実際の音で表したりすることが容易にでき、創作表現を創意工夫する活動に集中することができる。
- 自分たちの演奏や作品を録音や録画で残すなど学習履歴を蓄積し、学習の振り返りや学習成果の確認に生かすことができる。
- 表したいイメージづくりは十分に行われているか。
- 表現の工夫がICTの機能の範囲に留まっていないか。
- 協働的な学習が行われているか。